

# アジア開発キャピタル株式会社

## 株主懇談会



アジア開発キャピタル株式会社

Asia Development Capital Co. Ltd.

( A part of Sun Hung Kai Financial Group )

2019年6月25日

本資料には、アジア開発キャピタル株式会社（以下「当社」または「ADC」という）およびそのグループ会社（以下「当社グループ」または「ADCグループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書等を御参照下さい。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

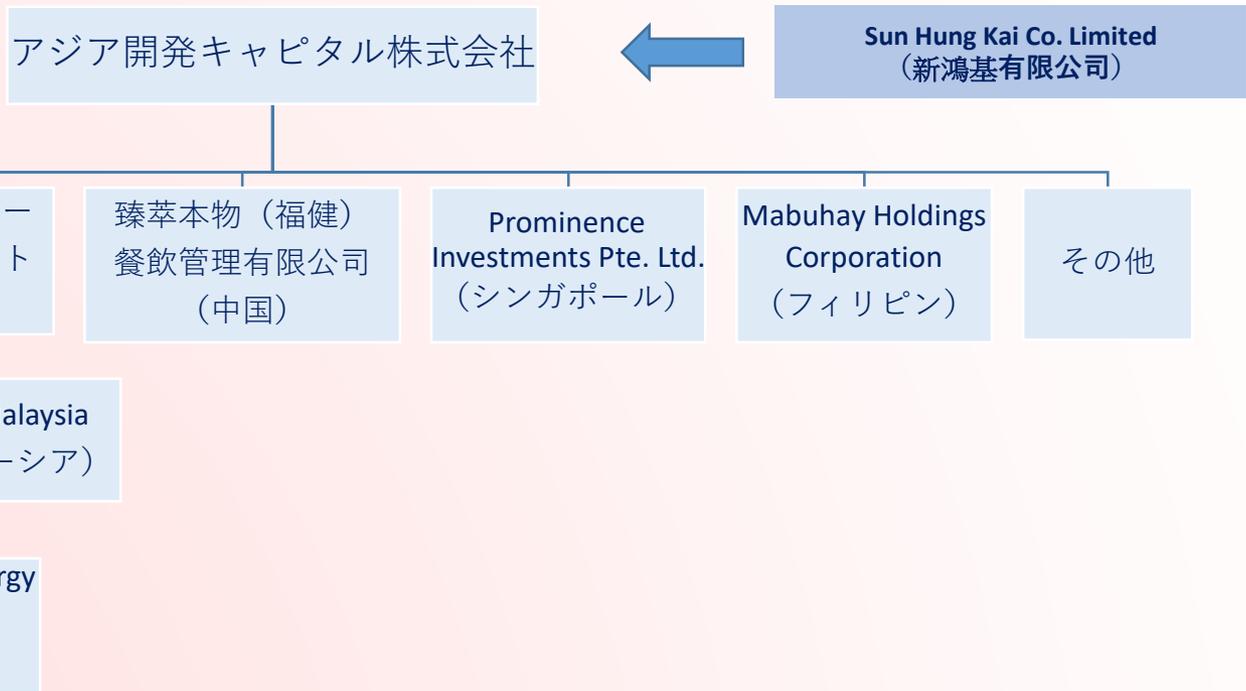
また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本資料の決算関連の計数は、別途記載のない限り、日本会計基準ベースの数値を使用しています。



# ADCグループ概要

事業系統図

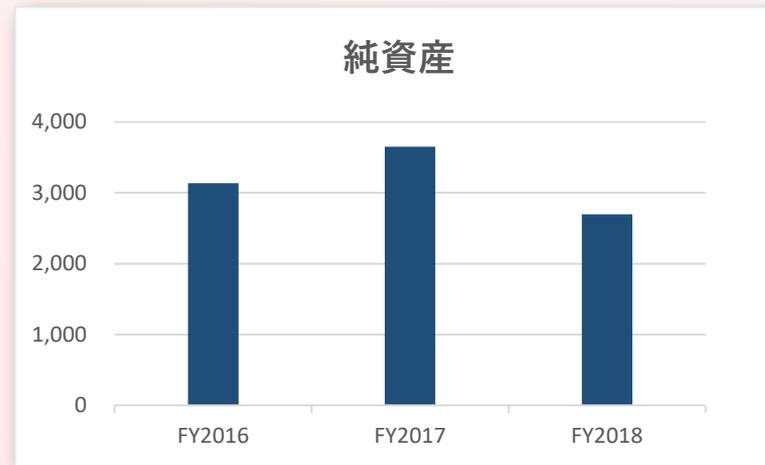
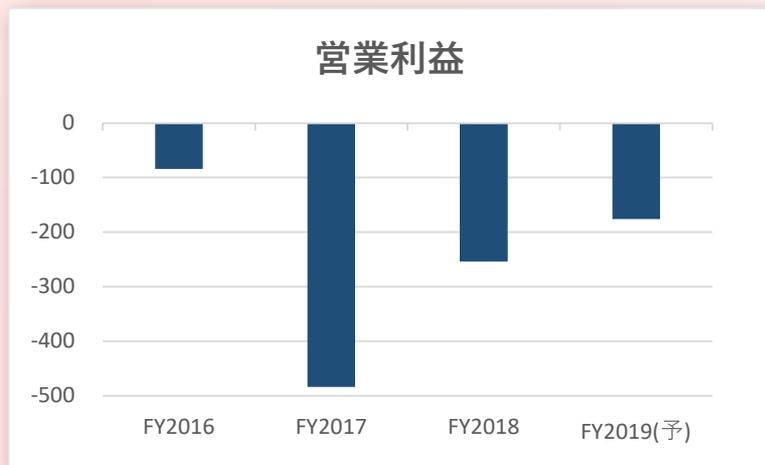
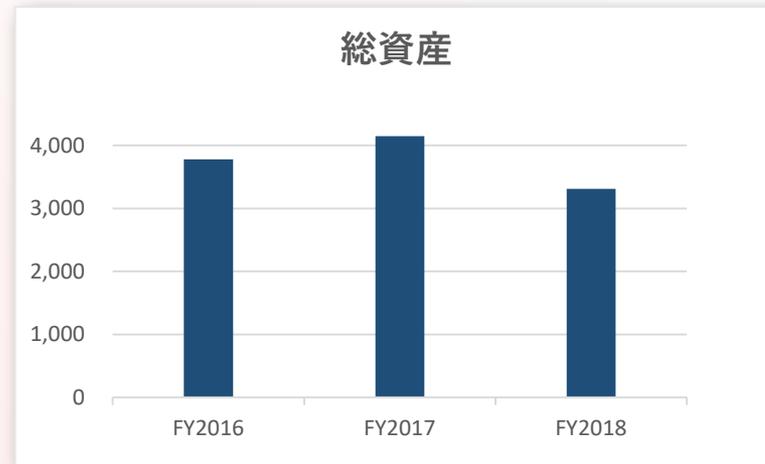
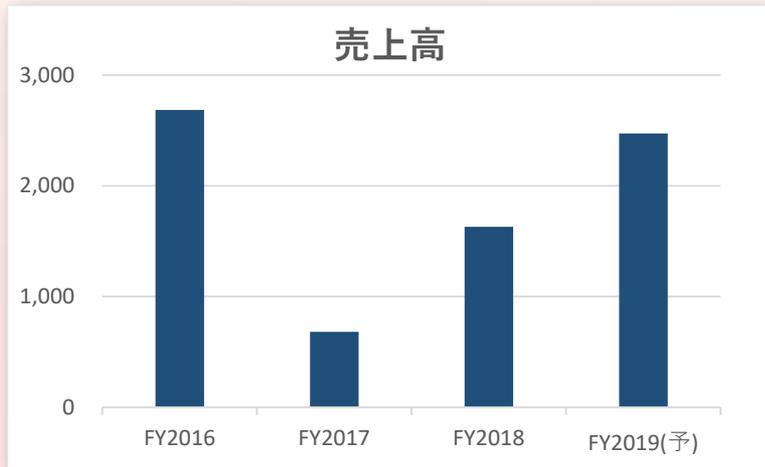




# 業績

業績の推移

単位：百万円





# 今年度の事業展開と業績予想



# 株式会社トレードセブン

## ▶▶ トレードセブンの戦略



—中古ブランド品買い取り店および同業会社の買収案件への積極的な取り組み。

—法人向け中古品買い取り業務及び中小企業向け質貸し付け業務を強化

—これまで順調に推移してきている商品割賦販売事業のさらなる強化。

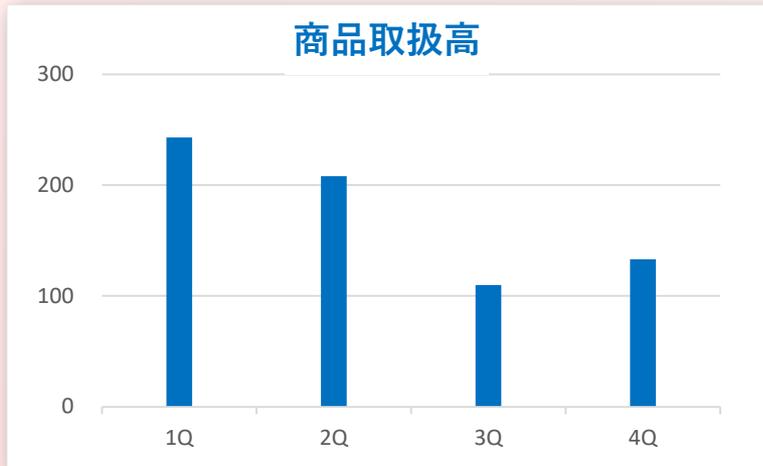
—収益性の低い骨董品買い取り事業の縮小。

—商品買い入れ販売（商社機能）の縮小。

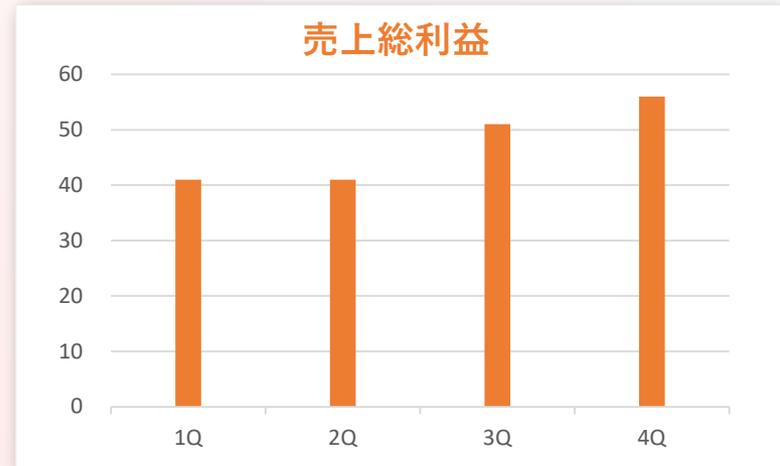
# ▶▶ T7 予想推移表

FY2019

単位：百万円



1Q	2Q	3Q	4Q
243	208	110	133



1Q	2Q	3Q	4Q
41	41	51	56

 **Cleath Energy Malaysia Sdn. Bhd.**

## ▶▶ クリアスエナジーの戦略



—国内のバイオマス発電所との関係を強化し、さらなる中長期契約の獲得を目指して参ります。現在、大手鉄鋼メーカー系発電所、大手重電メーカー系発電所と協議中。

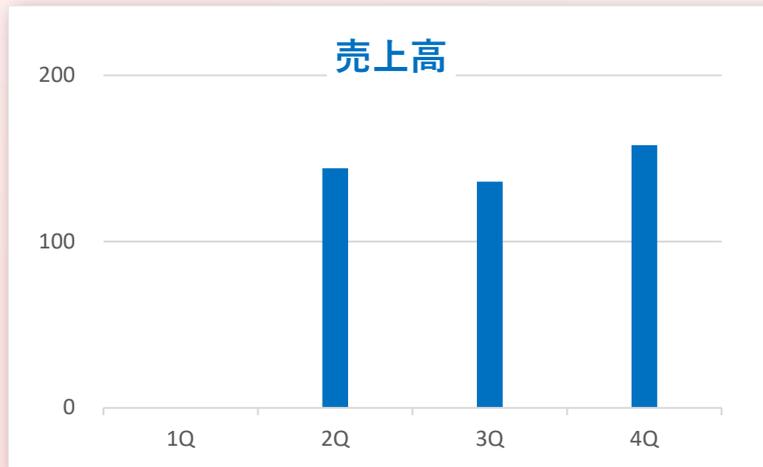
—その結果として、スポット取引と合わせ、今期内に6万トン以上、来年度以降年8万トン以上の出荷を計画中。

—現地銀行借り入れ及びバイヤーファイナンスの交渉を開始しています。これによって金利負担を大幅に縮小させていく計画です。

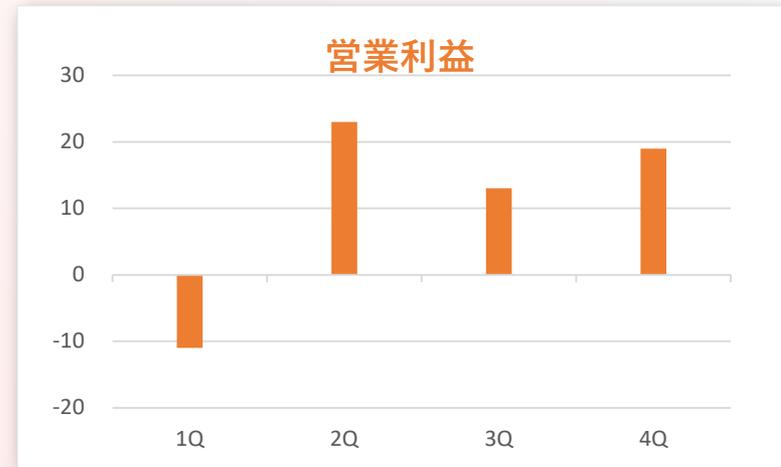
# CEI 予想推移表

FY2019

単位：百万円



1Q	2Q	3Q	4Q
0	144	136	158



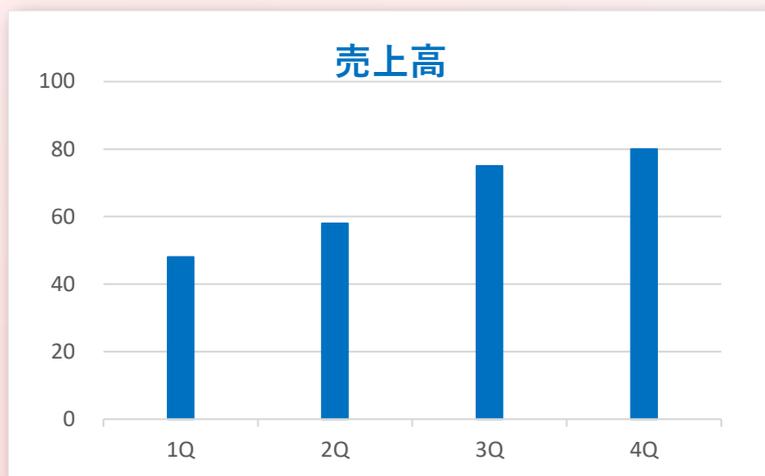
1Q	2Q	3Q	4Q
-11	23	13	19

# 臻萃本物（福健）餐飲管理有限公司

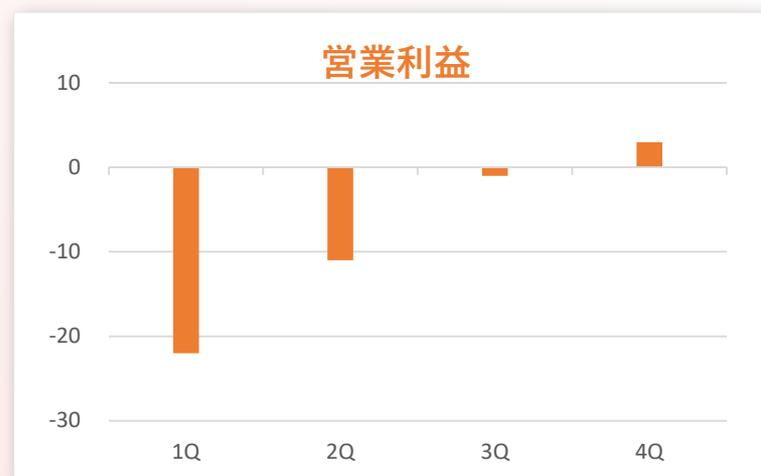
## 臻萃本物 予想推移表

FY2019

単位：百万円



1Q	2Q	3Q	4Q
48	58	75	80



1Q	2Q	3Q	4Q
-22	-11	-1	3

## ▶▶ Honmono事業の戦略



— 7月以降、高級価格帯店舗を閉鎖し、中価格帯、低価格帯の店舗のみの営業とし、利益率の向上を目指します。

— 今後の中国国内の消費動向を踏まえ、事業の投資対象としての妥当性を検討したうえで、本暦年内に今後の方針を決定します。



# 事業レビュー

## 2019年3月期の事業レビュー

### 1 ポジティブ・ポイント

- 金融事業の堅調な推移
- バイオマス燃料供給事業の長期供給契約の締結
- 福建省日本レストラン事業の全面開業
- 中国向け越境ECサイト事業売却の基本合意締結

### 2 ネガティブ・ポイント

- 中国景気低迷に高価格帯レストラン事業の低迷
- インドネシア税トリガーによるPKS市場価格の乱高下(既に解消済)
- 買収案件の不成立
- SHKグループとの共同投資株の価格低迷

## 2020年3月期以降の事業計画

### 1 既存事業について

—トレードセブンについては、業績も上向きであることから今後の当社グループ事業の中核として積極的に展開する予定。

—クリアスエナジーについては、長期契約締結など業務が拡大傾向にある為、引き続き注力。今年度は、現地銀行と独自に借入れを行うことやバイヤーファイナンスを交渉中。金利負担の低下により収益を拡大させていく予定。

—Honmono レストラン事業については、今後の事業展開及び将来性を早期に検証し、進退の判断を今暦年内に行う予定。

## 2

# 今後の事業展開について

一トレードセブンの事業拡大を行うにあたり、同業他社の買収機会を積極的に模索する。

一国内、アジア圏での株式投資は、SHKグループと共同で行っていく予定。

一現在保有してる株式の中で、当社が積極的に経営に関与していないSHKグループとの共同投資株は、**戦略的な**売却を順次行っていく予定。

# 今期の業績見通しおよび今後の経営目標

## 2020年3月期の業績見通しおよび今後の経営目標

### 1 2020年3月期の予想数字

連結売上高		2,474百万円
連結営業利益	▲	176百万円
連結経常利益	▲	204百万円

### 2 2021年3月期以降の目標

1. 2021年3月期の連結経常利益の黒字化
2. 「継続企業の前提に関する重要事象等」条項の早期削除
3. 銀行借り入れの再開



アジア開発キャピタル株式会社

Asia Development Capital Co. Ltd.